

一級河川安治川(旧淀川)外津波対策施設等 基本検討委託

公募型プロポーザル方式の概要

平成29年10月2日

西大阪治水事務所

委託名	一級河川安治川（旧淀川）外 津波対策施設等基本検討委託		
年度	平成29年度～30年度	工期	契約日～平成31年2月28日
河川名	一級河川安治川（旧淀川）外		
実施場所	大阪市西区江之子島二丁目地内外		
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ● 一級河川安治川(旧淀川)、同尻無川、同木津川に建設した水門（以下、「三大水門」という。）は高潮対策のための水門（以下、「高潮水門」）であり、既に建設から47年が経過し、順次老朽化対策として部分更新を行いながら運用しています。 ● 一方、東日本大震災を契機に、南海トラフ地震対策について、大阪府河川構造物等審議会（以下、「審議会」という。）において検討を進め、「南海トラフでの地震に対しては、洪水、高潮リスクを生じない「防ぐ」津波防御施設の建設に着手すべきである。」との中間答申を得ました。そのため、これまで審議会でその具体的な対策案について審議してきたところ、平成29年7月の審議会において、「新たな水門施設の建設が最適であり、速やかに設計段階に移行すべき」との最終答申を得ました。 ● 新設する三大水門に必要な機能としては、想定される津波に対し浸水被害が発生しないことに加え、南海トラフによる津波波力に対し耐力を有し、地震・津波発生後も高潮水門としても対応可能であることは勿論のこと、維持管理も考慮した計画的および効率的な施設となるよう基本検討を行うものです。 		
発注方式	公募型プロポーザル方式		

提案を求めるうえでの参考諸元

(参考諸元)

- ◆ 河川計画 : 計画河床OP-4.5m, HWL OP+2.2m,
HHWL OP+5.2m (水門内OP+3.5m)
- ◆ 河川幅 (現水門位置) : 80m (安治川・尻無川・木津川)
- ◆ 計画堤防高 : OP+6.6m (水門外), OP+4.3m (水門内)
- ◆ 現水門形式 : 円弧型ゲート (副水門 : スウイングゲート)
- ◆ 現水門径間 : 57.0m (副水門 : 14.2m)
- ◆ 現水門閉鎖時天端高 : OP+7.40m
- ◆ 現水門閉鎖時間 : 30分 (副水門 : 10分)
- ◆ 現水門位置でのL1津波高 : OP+4.46m (安治川)
OP+4.93m (尻無川)
OP+5.64m (木津川)

委託名 一級河川安治川（旧淀川）外 津波対策施設等基本検討委託

位置図



委託名 一級河川安治川（旧淀川）外

津波対策施設等基本検討委託



業務の内容

○ L 1 津波防御後も開閉機能を有する国内最大規模の津波・高潮対応の水門及びその付帯施設の基本検討を行う

水門及び付属設備等概略検討	新水門等の設置位置、基本形状及び基本諸元の検討 ・新水門等の設置位置検討 ・高潮対策と津波対策を兼ねた構造形式の選定 ・運転操作及び緊急時開閉操作方法の検討 基礎地盤性状を踏まえた地盤沈下対策検討 水門に必要な付属設備・施設等の概略検討 など
水門設置による影響・対策検討	・新水門設置位置を踏まえた津波シミュレーション ・防潮ラインの連続性検討 など
津波耐力及び耐震の照査	・津波波力に対する耐力照査及び耐震照査 など
既設水門撤去計画	・既設水門撤去方法の検討 など
施工計画	・施工方法(期間、順序等)の検討 ・仮設計画の検討 など
景観	・全体及び操作室等の周辺環境との調和デザイン等検討 など

一級河川安治川（旧淀川）外津波対策施設等基本検討委託に係る 大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会（実施フロー・スケジュール）

（手続きの実施フロー・スケジュール）

（各手続きの概要）

9/25 第1回 事業者選定委員会

公募要領案等の事前審査
（公募事項・応募資格・審査基準等）

10/2 プロポーザル方式公示

ホームページへの掲載

10/12・13
参加表明書・実施体制書の提出

事務所へ直接持参
（一次選定書類：実施体制書等）
事務局で一次選定を実施し、各委員へ報告

10/20 一次選定結果の通知

上位3位決定・電子メール等による通知

11/20 提案書〆切

事務所へ直接持参
（二次選定書類：提案書）

12/8 第2回 事業者選定委員会

委員会で二次選定（提案書・ヒアリング）を
実施し、最優秀提案事業者を選定

12/13 二次選定結果通知・公表

ホームページへの掲載

12月下旬：契約締結